

冬期湛水田における雑草の年次変動

福島県農業総合センター 会津地域研究所

1 部門名

水稲 - 水稲 - 雑草防除

2 担当者

荒井三千代・花見厚・山内敏美・松本靖

3 要旨

冬期湛水とは冬期間に田に水を張って管理する栽培法である。今回、冬期湛水を数年続けることによって、雑草の種類がどのように変化するかについて調べた。

- (1) 冬期湛水1年目(2005年)は、冬期湛水により土壌表面が還元状態となり、ヒエを含むすべての草種を抑制することができた(図1)。
- (2) ヒエとアゼナは、2年目以降もほとんど発生せず、冬期湛水で効果的に抑制できる草種と考えられる(図1 表1)。
- (3) 冬期湛水2年目以降は、還元と比較的強いコナギの発生が増加した。コナギに加えて多年生雑草のクログワイが、不耕起栽培や冬期湛水の影響で発生が増加した(図1)。
- (4) これらの雑草の他に、春先からアシカキの侵入や、沼地で発生するガマなどの雑草が年々増加した。冬期湛水4年目では匍匐茎で繁殖するアシカキを除去してから移植したものの、完全に除去することは難しく、後期防除は困難であった(表1)。
- (5) これらの結果から、冬期湛水による雑草防除だけで完全に雑草を抑えることができないため、他の雑草防除法を組み合わせる必要があると考えられる。

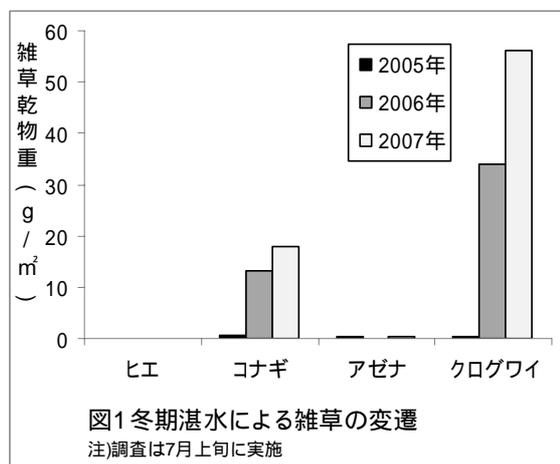


表1 冬期湛水における雑草発生の特徴

雑草効果の分類	雑草の種類
冬期湛水で制できる草種	ヒエ・アゼナ
冬期湛水で制できない草種	コナギ・アシカキ
冬期湛水で発生が増加する草種	クログワイ
侵入してくる可能性のある雑草	ガマ等の抽水植物

4 主な参考文献・資料

- (1) 平成17年度福島県農業試験場試験成績概要(2005)
- (2) 平成18～20年度福島県農業総合センター試験成績概要(2006～2008)